

1 策定の背景と目的

（1）策定の背景

中央自動車道の調布高架橋が中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）による耐震補強工事の対象となっているとともに、耐震補強工事終了後、路面等のリニューアル工事への着手が予定されています。本工事に伴い、高架橋の下に設置している市の公共施設への影響が生じる見込みです。

こうした工事の影響を受ける施設については、スポーツ施設はもとより、児童遊園や駐車場、保存庫や資料室などもあり、工事期間中は一時的な撤去や閉鎖などの影響を受けることから、移転等への対応が必要となっています。

高架橋の下にある公共施設のうち、調布市民西調布体育館（以下、「西調布体育館」という。）は、地域のスポーツ活動の拠点となっており、多くの市民に利用されています。市としては、この西調布体育館について、利用者の継続的な活動機会を確保するため、これまで様々な検討を行ってきました。

具体的には、NEXCO中日本のリニューアル工事の内容によっては現地での建て替えは困難であることや、建設当時からの周辺状況等の変化などを踏まえ、移転する方向で現施設周辺の公共用地の活用について多角的な視点から比較検討を重ねてきました。

その結果、代替施設を調布市立調布中学校の敷地に整備し、整備に当たっては、体育館単独ではなく、生徒の学習環境の向上に資するよう、学校屋内プールとの複合施設とすることとしました。

（2）策定の目的

西調布体育館機能移転に関する基本構想は、移転先の複合施設の整備に当たり、施設に求められる機能・役割を整理し、利用者や地域等の意見を踏まえながら、本事業の実施に向けた条件を整えるとともに、良好なスポーツ環境や教育環境づくりにつながるよう、施設整備における基本的な考え方をまとめるため、策定するものです。